

事務事業名		糖尿病重症化予防事業			<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	01:安全安心な暮らしを支えるまちづくり			所属課	保健福祉課	担当	保健予防担当
	施策名	01:健康づくりの推進			課長名	星 育男	担当者名	斎藤 圭子
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
		1	04	01	02	002	成人健康教育相談費	健康増進法
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成29 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 糖尿病については、健康増進法に基づき、予防や重症化防止のために事業を行っているが、平成30年度から、社保加入者に比べて重症化の率が高い国保加入者を対象として、重症化予防に取り組んでいきたいと考えている。平成28年度の国保のデータを観察すると、糖尿病患者は確実に増加しており、糖尿病の重症化による合併症等により人工透析が必要となるケースが増えている。国保加入者1人が人工透析患者になるだけで国保の医療費が年間に500万円増加することも試算されており、また透析になった本人も週3回約4時間の時間制約を受けることにより、経済的社会的損失が大きい。そのため、関係機関と連携をとりながら、早急にこの事業をすすめていく必要がある。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者 国保レセプトの縦覧及び医療機関からの紹介で糖尿病と診断されたもの及び血糖値が高にも関わらず医療機関未受診の者。今回は糖尿病境界域段階及び糖尿病重症化予防段階の方を対象とする。糖尿病性腎症重症化予防段階の方については病院への受診勧奨を行う。 方法 保健師及び管理栄養士の指導及び訪問 <p>2 概算事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養指導のための栄養士の雇いあげ 時給1,200円×2,500時間 						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画 (活動の量・大きさ・規模等)	国保加入者	名称	単位
		ア 国保加入者	人
② 対象 (事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	糖尿病予備群の住民 国民健康保険の医療費	名称	単位
		ア 糖尿病予備群の加入者数 (H6ALC6.5以上)	人
		イ 現在の医療費 (1人あたり)	円
③ 目標 (この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	糖尿病から人工透析に移行する人を減少させる。 国保医療費を削減する	名称	単位
		ア 糖尿病から透析に移行する人の減少	人
		イ 事業取組後の医療費 (1人あたり)	円

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 人	3,425	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	イ	実績値 人						
対象指標	ア	目標値 人	75	75	65	55	45	55
	イ	実績値 円	339,765	330,000	330,000	330,000	330,000	330,000
成果指標	ア	目標値 人	5	5	10	10	10	10
	イ	実績値 円	330,000	320,000	310,000	300,000	290,000	300,000

計画		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成32年度
投入量	事業費	千円					
	財源内訳	千円					
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
一般財源	千円		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
事業費計 (A)	千円	0	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

実績		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成32年度
投入量	事業費	千円					
	財源内訳	千円					
	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
一般財源	千円						
事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	糖尿病によって人工透析になると年間の1人の医療費が約500万円かかってくる。医療費が増大すると住民負担も大きくなっていくことから重症化予防のため町が関与することは妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	糖尿病の重症化により、透析に移行している者も増えていることから早急に進める必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	医療費を増大させないための対策であり妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	町民の健康増進と国保の医療費を増加させないための対策であり、町民の負担軽減につながることから公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 29 年 8 月 31 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項
	<input type="checkbox"/> 再評価対象事業